



「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ

特集

新型コロナウイルス感染症拡大防止で地域でおこっていること 8

～市民活動を応援する協同のひろがり～

寄付と助成で応援 ユーコープ×市民基金

ユーコープ新型コロナ対応緊急応援助成

理事 大石 高久(公財かながわ生き生き市民基金・専務理事)

緊急事態宣言下にあった5月下旬、生活協同組合ユーコープから市民基金に1本の電話が入りました。「6月下旬から組合員に呼びかける新型コロナ緊急支援募金を市民基金に寄付したい」。市民基金は4月に新型コロナ緊急応援助成(助成と略)を始め、5月に29団体に助成。電話のあった5月下旬は第2次助成の選考の真っ最中で、寄付の申し出はとてありがたい話でした。その後使い途について協議し、募金の一部を第2次助成の原資として活用すると共に、500万円を原資にオーダーメイド助成「ユーコープ新型コロナ緊急応援助成」(第3次)を立ち上げ、9月上旬募集を始めました。オーダーメイド助成とは寄付者が用途を指定できる助成プログラムです。寄付者を代表してユーコープ理事の里見里奈さんが選考委員会に参加、9月29日午前10時から休憩なしの3時間に及ぶ選考会議を経て、64団体への助成を決定しました。

フードバンクかながわは提携する市民団体に助成情報を提供するなど連携を強め、64団体中20団体がフードバンクかながわと提携合意書を取り交わす団体でした。生活協同組合ユーコープを真ん中に、フードバンク(食品で支援)と市民基金(助成で支援)がしっかりタッグを組むことができました。12月には生活クラブ生活協同組合の組合員寄付を原資に、第4次助成に取り組む予定です。

※助成団体一覧 <https://lively-citizens-fund.org/archives/3050>

選考に参加して

生活協同組合ユーコープ 理事
里見 里奈さん

生活協同組合ユーコープは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により深刻化が懸念される生活困窮者を支援するための「新型コロナ緊急支援募金」に取り組みました。

神奈川県ではかながわ生き生き市民基金の「新型コロナ緊急応援助成(第1次)」の趣旨に賛同し、寄付をしていたこともあり、新型コロナ緊急応援助成(第2次)のご紹介をし寄付を募ることにしました。

結果、多くの組合員の皆さんにご協力いただき、多額の募金が集まりました。募金の一部を緊急助成(第2次)に寄付をすることができました。また「ユーコープ新型コロナ緊急応援助成」をかながわ生き生き基金の皆さんと共催し、助成総額500万64団体へ助成することができました。選考にあたり、地域食堂や居場所づくり・学習支援など、地域の暮らしを支える団体の皆様の活動内容・課題などが申請書類から伝わってきました。新しい生活様式の中で継続して活動するために必要な資材購入の申請など、コロナ禍の今、新たな活動方法を考えながら一歩ずつ踏み出している印象を受けました。今回、ユーコープの役職員や活動リーダー層の紹介から申請に至った団体もあり、市民基金やフードバンクとの「つながり」づくりができたことも嬉しく思っています。誰もが安心して暮らし続けられる社会の実現がユーコープの願いです。これからも地域社会の支援に役立つ取り組みを続けてまいります。



選考委員会 右が里見さん

米1合寄付で応援 労働組合×フードバンク

米1合運動展開中

理事 市川 敏行(神奈川県労働者福祉協議会・事務局長)

「お米が足りない！」今年7月「フードバンクかながわ」を訪れた際、藤田事務局長の言葉に驚きました。お米の寄贈は昨年より2倍、なぜ不足しているのか。新型コロナウイルス感染症の拡大が想像以上に生活環境を一変させ、学生やひとり親世帯の生活を直撃していました。

これまで懸命に働いて家族を養ってきた、ひとり親世帯の支援に行政や社会福祉協議会が動き始めると同時に、「フードバンクかながわ」は食品の提供にフル活動していました。藤田事務局長は「あらゆる事業者・団体に支援をお願いします」と厳しい表情です。それに対し神奈川県労協は『お米一合運動』を展開することにしました。

『お米一合運動』は、家庭にある「一合」のお米をビニール袋に入れて無償で提供をいただく運動です。運動に協力いただいた連合神奈川は35万人を結集するナショナルセンター(労働組合)のスケールメリット生かして神奈川県に暮らす人々の生活をサポートし、「共助の輪」の役割を發揮したいと力強く応えていただきました。

10月1日からスタートした『お米一合運動』は、連合神奈川から神奈川県内の労働組合に情報が届けられ、組合員一人ひとりに「お米一合」の寄贈をお願いしています。10月20日現在108kgが贈られ、現在も多くのお問合せを受けています。

『お米一合運動』は、2021年3月末まで実施しています。皆さまのご協力をお願いいたします。



お米1合を袋に入れて

各労働団体へ持ち寄る

フードバンクかながわ
精米・小分け

地域の支援団体へ

ひとり親世帯へ



寄付で応援 市民・団体×フードバンク

2020年度寄付金累計476万3428円に

コロナ禍で定額特別給付金を寄付したいという声が多く、10万円以上の寄付8名計100万円、20万円をお米に変えて寄付された方もあった。ユーコープ組合員募金は243万3434円を寄付。米や備蓄品寄付も増えた。

- ①給付金寄付の手紙「パート先は休業中も保障してくれたので給付金は寄付します」と書かれている
- ②ユーコープ募金の感謝状を贈呈、吉坂代表理事
- ③葉山町町長と當具代表理事 災害備蓄品寄付
- ④横浜銀行本店のフードドライブ



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com 発行責任：藤田 誠

236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45

TEL 045-349-5803

基本情報 2020年度の累計 (2020/10/31現在)

寄贈された食品124.3トン	提供した食品 1420回 117.4トン
企業等 251回 110.2トン	行政・社協 335回 25.5トン
フードドライブ 397回 14.1トン	地域のフードバンク 222回 34.0トン
	子ども食堂等 559回 37.3トン
	自立支援施設 47回 2.4トン
	福祉・病院関係 227回 17.8トン
	調整 0.4トン

合意書締結団体

寄贈締結団体	130団体
提供締結団体	192団体
行政・社協	49団体
市民団体	143団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)	

賛助会員寄付状況

団体会員	161団体 576口
	576万円
個人会員	228人 1017口
	1017千円
2020年寄付金	4,763,428円
寄付累計	16,136,871円

(2019年実績間実績 寄贈 97トン・提供 92トン)

10月の状況 10/1~10/31 寄贈17.7トン 提供13.5トン

【寄贈食品】17.7トン

事業者 15.6トン 38回
フードドライブ 2.1トン 48回

9月は寄贈 15.5トン
提供 14.1トン

【提供食品】13.5トン

行政・社協 1.8トン 28団体 41回
地域のフードバンク 2.7トン 16団体 31回
子ども食堂・居場所 5.8トン 52団体 94回
施設関係 0.4トン 5団体 8回
福祉病院関係 2.8トン 28団体 45回

寄贈 17.7トン(敬称略)

事業者 15.6トン

広研よりベジート130kg、フロンティア物産よりチョコレート165kg、ユーコープより飲料4トン、日生協コーヒーフレッシュ166kgほか寄贈コロナ禍を要因とする事業者からの提供は落ち着いてきた。

◎ベジートは、年間200万トン以上廃棄される規格外野菜を寒天のみで加工した春巻きの皮のようなシート。化学調味料、合成着色料不使用で野菜の栄養分が凝縮されており食品ロス削減にも貢献。もったいないから生まれた食材。

防災備蓄品：孝道山60kg。葉山町57kg、アクセントア 3トン。富士電機800kg。小田原ガス745kg等の寄付。

フードドライブ 2.1トン

10月も個人から毎日のようにフードバンクかながわへの食品の寄贈があり28件460kg。平塚市のヨークマート北金目店でフードドライブリアル。初回は32kg。JP労組西支部から25kg。連合神奈川から180kg、米1合運動がはじまり81kgが米。全水道神奈川支部から50kgの米の寄贈。21年3月までの6カ月間寄贈予定。昨年に続きタニタフィツミー井土ヶ谷店から95kg。自治労本部27kg。UAセンセン20kgなど

提供 13.5トン

横浜市・横浜市母子寡婦福祉会、地域のフードバンク、子ども食堂からフードパントリーに移行した団体が、ひとり親支援に力を入れており、その結果食品提供量が増大。相模原市は引き続き学生支援を継続。飲料や鍋スープ等、毎週まとまった量の食品を提供。新規の食品提供団体としてフードパントリーの「スペースナナ」、生活困窮の子ども支援の「つるみ元気塾」、横浜朝鮮初級学校、厚木市への食品の提供を開始。米の提供は10月も増え3.1トンとなり、1月に比べ約2倍の提供量。

●いま、子ども・地域食堂は・・・



地域食堂「みんなでごはん」(金沢区)は10/24予約制でお弁当配布。おすそ分け(食品配布)も。



金沢子ども食堂すくすくの「ホットサロンすくすく」開催(ひとり親家族食料支援)10/25

メッセージ

檜垣 明宏 理事・事業推進委員

(かながわ勤労者ボランティアネットワーク 常務理事・事務局長)



GoToトラベル・GoToイートが始まり、週末は行楽地を中心に各地で渋滞が発生し、人気店の店先には行列ができるなど、街には少しずつ活気が戻ってきているように見えます。しかし、いつまた急速な感染拡大がおこるのかと不安を抱えながらの日常ですが、しっかりと感染対策を行ったうえで活動の範囲を広げていく工夫が求められています。

先日、私たちVネットでも県労福協と協力して久しぶりにフードドライブを実施しました。今年はお米一合運動への協力を依頼している事もあり、提供者からは「お米がいいんだよね」とのお声がけもいただきました。結果はお米が約81kg、総重量：約180kgとなりました。

「フードバンクかながわ」が取り組んでいる「フードドライブ」「フードロス削減」「フードパントリー」など食にかかわる様々な活動は着実に広がりつつあります。この運動をさらに広め定着させていくため、Vネットでは引き続き賛助会員を増やす活動を進めていきたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

食品ロス削減に寄与するフードバンク活動検討会

2020年11月27日 フードバンクかながわ倉庫/事務所

コロナ禍での食支援にも貢献したフードバンク活動。

<行政の政策>×<企業の提供・フードドライブ><福祉の利用>によりフードバンクでさらに食品ロス削減をめざす。

ご出席：神奈川県・横浜市・川崎市、(株)ミツハシ、三菱食品(株)、(株)イトーヨーカドー、山崎製パン(株)、日本生協連、食品ロス削減推進委員、横浜市母子寡婦福祉会、横浜市社協、報徳食品支援センター、フードコミュニティ、フードバンク浜っ子南の皆様他

・・・コロナ感染防止のため、参加を制限して開催します・・・

フードドライブ



フードドライブポイント

常設場所はHPに掲載

NEW

- 藤沢市役所 本庁舎8階
開庁日の8：30-17：15
月初の1週間
11/2~6 12/7~11 1/4~8
- 富士フィルム生協 11/9~27
旅行センター南足柄 入口
足柄センター入口

始まりました

食品ロス削減コースターデザイン募集

募集期間 2020年11月1日~2021年1月31日

- ★一般・中高生・小学生の3部門 詳細はHPで
- ★入選者にはクオカード進呈
- 一般 最優秀賞1名1万円、優秀賞2名5000円
- 中高生 最優秀賞1名5000円、優秀賞2名2000円

助成金

赤い羽根共同募金

新型コロナ福祉活動応援フードバンク活動等応援助成から99万円の助成を受け、coop レトルトカレー1.1万個を購入!

レトルトカレー1.1万個

